

都市街路スマート・モビリティ学社会連携研究部門

[モビリティ・ディバイドのない社会へ]

生産技術研究所 都市街路スマート・モビリティ学社会連携研究部門

Urban Surface Street Management for Smart Mobility, Social Cooperation Program

都市街路スマート・モビリティ学

<https://www.usm.iis.u-tokyo.ac.jp/>

大きな変革期にあるモビリティのスマート化に対応し、未来の都市に求められる価値を創出するため、都市街路交通の計画・マネジメントに関わる新たな基礎理論・技術の体系化と実践を行います。

モビリティの
スマート化

AI

ビッグデータ

自動運転

コネクテッド

共同利用



URBAN
SURFACE STREET
MANAGEMENT

移動する権利

SDGs

多様性と包括性

「人」中心

未来の都市に
求められる価値



自由に

自立して

安全に

快適に

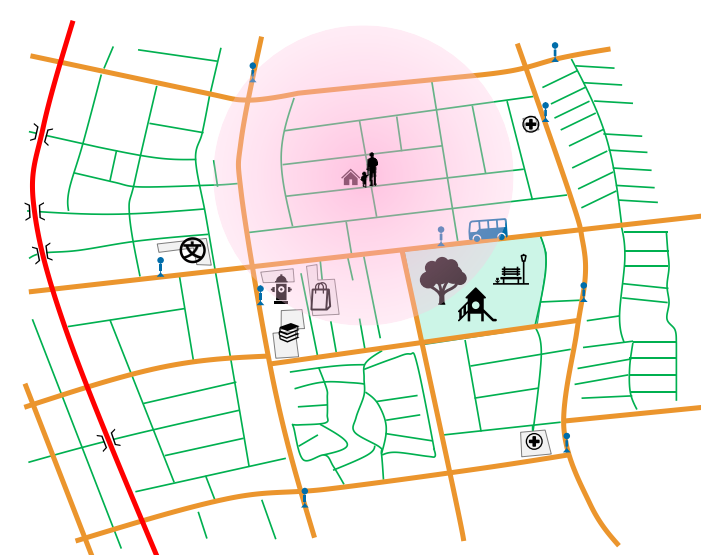
環境にやさしく

みんなが、モノが、サービスが移動できる
モビリティ・ディバイド^{*}のない社会へ

^{*}自動車等の保有や運転の可否などにより生じる移動できる／できないの格差



1. 街路の再定義と評価



モビリティ・ディバイドの解消に不可欠な、歩きたくなる道、使い
たくなる公共交通を実現するために、**街路に必要な機能を再定義し、
その性能を客観的・定量的に評価する仕組み**を構築します。
街路における歩行者や車両の挙動観測やデータ分析、実験により、
望ましい**街路構造や交通運用技術**を提案します。

2. 街路ネットワークの最適化

歩行者、公共交通利用者、自動車利用者など、異なるニーズを持つ
誰もが快適に移動できる**最適な街路ネットワークを計画する手法**
を開発しています。



3. 実践から理論へフィードバック

理論や技術を現場で実践しフィードバックを繰り返すことで、持続的な社会実装を図ります。

メンバー

大口 敬 教授（交通制御工学）

本間 裕大 准教授（都市環境数理工学）

平岩 洋三 准教授（交通政策論）

鳥海 梓 特任准教授（道路機能設計学）

池谷 風馬 特任助教

羽佐田 紘之 特任助教

連携企業：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

設置期間：2024年10月16日～2028年3月31日